

通し番号	記入不要
------	------

分類番号	24-6B-21-22
------	-------------

(成果情報名) 系統豚を利用した交雑種雌の能力調査
[要約] 民間2社から購入した精液を利用し生産した大ヨークシャー種雄をユメカナエル雌に交配し得た交雑種雌の子豚平均体重はLW(A)が重い、一腹平均総産子数、ほ乳開始頭数、離乳頭数はLW(B)が多い。また、一日平均増体重及び100kg到達日齢のいずれもLW(B)が早く、交雑種雌の作出にはW(B)が適していると考えられる。
(実施機関・部名) 農業技術センター畜産技術所企画研究課 連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

ランドレース種系統豚ユメカナエル雌と民間業者の精液を交配して作出した大ヨークシャー種カナガワヨーク雄と交配して作出した交雑種の繁殖能力、産肉能力について調査し、系統豚の利用について検討する。

[成果の内容・特徴]

1 試験区の概要

大ヨークシャー種(カナガワヨーク、W)雌に民間業者(A及びB)の精液を人工授精し得た雄2頭をランドレース種(ユメカナエル、L)雌3頭に人工授精し得た産子を試験に供した。2産目は雄と雌を1産目と入れ替えて人工授精した。

(ア) W(A) : カナガワヨーク雌に民間業者Aの精液を人工授精し得たW雄

(イ) W(B) : 同様に民間業者Bの精液を利用して得たW雄

交雑種(LWD)を作成するデュロック種種雄豚は当所で管理する1頭を用いた。

2 交雑種(LW)の発育及び体形調査結果(表1)

交雑種雌LW(A)及びLW(B)各3頭の日平均増体重の平均はそれぞれ、766.6g、856.7gでありLW(B)が有意に大きい。100kg到達日齢は160.7日、151.1日でありLW(B)の発育が早かったが有意な差は認められない。

3 交雑種(LW)の繁殖調査結果(表2)

一腹平均総産子数、ほ乳開始頭数、離乳頭数はLW(B)が多く、子豚平均体重はLW(A)が多い。

[成果の活用面・留意点]

[具体的データ]

表1 交雑種(LW)の発育及び体形調査結果

調査項目/頭数	H24年度生産			H23、24年度生産計		
	LW(A)	LW(B)		LW(A)	LW(B)	
一日平均増体重(kg)	766.6 ± 19.2 (3)	856.7 ± 29.9 (3) *		733.5 ± 40.8 (6)	811.6 ± 70.7 (6) *	
100kg到達日齢(日)	160.7 ± 4.8 (3)	151.1 ± 3.8 (3)		167.5 ± 8.7 (6)	102.8 ± 76.8 (6)	
体長	113.3 ± 2.5 (3)	105.3 ± 1.5 (3) *		113.3 ± 2.3 (6)	108.3 ± 3.9 (6) *	
体高	62.7 ± 1.2 (3)	60.3 ± 1.5 (3)		62.0 ± 1.1 (6)	62.0 ± 2.3 (6)	
胸囲	107.3 ± 0.6 (3)	109.0 ± 1.0 (3)		107.7 ± 2.1 (6)	107.0 ± 3.2 (6)	
管囲	16.7 ± 0.6 (3)	18.0 ± 0.0 (3)		16.5 ± 0.6 (6)	17.8 ± 0.4 (6) *	
前幅	32.7 ± 0.6 (3)	33.0 ± 0.6 (3)		32.7 ± 1.0 (6)	33.3 ± 0.8 (6)	
後幅	33.0 ± 1.0 (3)	33.3 ± 0.6 (3)		33.7 ± 1.0 (6)	33.5 ± 0.6 (6)	
胸幅	29.3 ± 0.6 (3)	29.7 ± 0.6 (3)		29.3 ± 1.0 (6)	29.3 ± 0.5 (6)	

平均値±標準偏差 ( )内は供試頭数

平成25年3月31日現在

\* : p<0.05

表 2 交雑種(LW)の繁殖調査結果

調査項目	合計		初産		2産	
	LW (A)	LW (B)	LW (A)	LW (B)	LW (A)	LW (B)
分娩種雌豚 (頭)	6	8	5	6	1	2
一腹平均 (頭)						
総産子数	8.3	10.1	8.2	9.3	9.0	12.5
ほ乳開始頭数	7.7	9.3	7.4	8.5	9.0	11.5
離乳頭数	7.3	8.9	7.0	8.5	9.0	10.0
育成率	95.7%	96.0%	94.6%	100.0%	100.0%	87.0%
子豚平均体重 (kg)						
生時	1.7	1.5	1.7	1.5	1.7	1.5
3週齢	6.1	6.1	6.2	5.9	5.7	6.9
8週齢	17.4	15.0	17.1	14.1	17.9	17.5

平成25年4月30日現在

[資料名] 平成 24 年度試験研究成績書  
 [研究課題名] 系統豚の維持に関する試験  
 [研究期間] 平成 15 年度～  
 [研究者担当名] 西田浩司、牧野 敬